

す。天気もよく山が綺麗でした。

星野義男君 小山楯夫様の卓話に感謝して!!

横田加代子君 青柳さんの娘さんの結婚式には感動させられました。

米山忠俊君 BOX委員長と目があったのでBOXに協力です。

佐藤義英君 ボックスに協力!!

駒形実君 BOXに協力

佐藤文夫君 //

山崎勲君 //

堀川正幸君 //

* 小山楯夫様からお車代をそっくりご寄付頂きました。

* 2月のコメント賞は堀川正幸会員です。

卓 話： 識字率向上月間に因んで 新潟RC 小山楯夫



1997-98年度のキンロス会長年度から、7月を識字率向上月間に指定しましたが、RI理事会では今年度から3月に変更しました。

我が国でも、そしてもっと福祉が進んだ北欧の国にも弱者は居ります。衣食住がある程度保障され、医療のサービスも受けられるのです。

然し、地球を一つのコミュニティーと見たとき、この世に生まれ、母親の顔も認識出来ない内に死んでゆく乳児達。もし、運よく育っても水も食料も無く、医療も受けられないで死んでいく子供達。水汲みの為学校へも行けない子供達が居るのです。

RIが推奨する識字率向上プロジェクトは我々に関係ない事でしょうか？ RIは地球規模で問題点を検討しています。世界中のロータリーからプロジェクトに参加を求めて、これらの問題を解決しようと考えております。

各ロータリー・クラブは、地域社会特有のニーズに沿った奉仕活動を、自由に選ぶことができます。とはいえ、世界中のロータリー・クラブは、多くの共通の問題にも取り組んでいます。保健、飢餓追放、貧困、識字率向上、エイズ予防、国際理解・親善などです。

RIは何故識字率向上を積極的に推進するように要請するのでしょうか。ロータリーは非識字者の存在が貧困をはじめとする諸問題の根源であると考えているのです。

地球上に非識字者が約10億人。その数は成人の25%に当たり、その75%はアジア人であり、非識字者全体の66% (2/3) は女性です。毎年のように、RIからの推奨プロジェクトに上げられていますが、非識字者の悲惨な状況を身近で見ることがない日本では、このプロジェクトに関心を持つ人は少ないのです。

しかし先進国でも情報非識字が問題になっています。すなわち、インターネットやメールができないから情報が伝わらないというケースです。私たちの周りでも、中国残留孤児、外国人労働者など識

字の援助を必要としている人たちがいるのではないのでしょうか。また、比較的高齢の方々には未だITアレルギーが少なくありません。最近ではIT化の進歩により、様々な情報をインターネットや電子メールなどの伝達手段によって、日常的に行われています。

これらの操作方法を少し学ぶことで素早く、正確に情報を伝えたり、得たりすることが可能になるのです。この便利な情報伝達手段を利用できずに諦めている会員はおられないのでしょうか。

ITが使えなくても、他の方法で情報伝達ができますから、あまり大きなハンディにはなりません。が、字が読み書きできなかつたら全く情報は伝わらないのですから、もっと関心を持つ必要があると思うのです。

日本のある地区（2680地区、兵庫）では数年前、カンボジアにおいて義足プロジェクトを実施しました。その報告によると、国境地帯の地雷原に立てられている立看板の文字が読めないために、毎日何人もの子供たちが足を吹き飛ばされているそうです。

非識字者が開発途上国の女性に多いことも、数々の問題を生みます。教育が受けられないことや正しい知識が得られないために、計画出産や性病予防がままならず、これが人口問題やエイズ撲滅の大きな障害になっています。先進国ならば、葉書一枚で、集団接種の会場に皆を集めることが可能ですが、字の読めない母親に葉書を送っても何の効果もありません。識字率向上運動は、ポリオ・プラス以前の重要なプログラムなのです。

非識字者は就職の機会に恵まれません。それがさらに貧困を招きます。貧困が故に、1億3千万に上る子供たちは就学の機会が与えられず、非識字と貧困は悲惨な悪循環をしているのです。

識字率向上の恩恵は、自尊心を高め、職に就く上で役立つことにあるのです。安定した職業につけば飢餓、貧困、疾病を征服できるかも知れません。

国連統計のデータから推定によると、世界の人口は65億7606万人だった地球人口が、2025年には78億に、2050年には93億になることが予測されています。先進国の占める人口は約11億でずっと固定していますから、開発途上国で人口爆発がおこることです。

今の開発途上国や発展途上国の中から50年後には先進国になる国があるにもかかわらず、先進国の人口は増えません。それは、先進国の出生率が低いからで、先進国の平均の出生率は2名以下です。我が国では平成15年は1.29人まで下がり、今年は1.50人まで戻してはいるものの、開発途上国は地域的なばらつきはありますが5名から7名とも言われています。

出生率と女性の識字率とは密接な関係があり、女性の識字率が高い国ほど出生率が低いという結果が出ています。従って人口爆発を抑える最も効果的な方法は、開発途上国の女性の識字率を高めて、バス・コントロールによって計画出産をすることなのです。

識字率向上のプロジェクトが進展しなければ、先進国と開発途上国間の貧富の差が広がります。そして、やがて人口爆発によって地球上の資源（飲料水・燃料・食料など）は枯渇するでしょう。私たちは、子孫のために強い危機感を抱かなければなりません。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を提唱したアーサー・F・シェルドンは1913年、第4